

2026 年 8 月 4 日

千代田化工建設株式会社
財務企画室 IR グループ

2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明会 質疑応答要旨

8月3日に開催致しました2027年3月期 第1四半期決算説明会(オンライン)において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

#	質問	回答
1	完成工事総利益	
	地球環境分野の完工総利益率が高かった背景は。また、全体の完工総利益率が期初予想よりも高かった背景は。	地球環境分野については、一過性のものではなく、一つ一つの案件利益の積み重ね。期初予想とのギャップについては、ソフト案件などで稼働率が見込みよりも上がったことが主な理由。
2	中東情勢	
	現在取り組んでいる中東案件についての影響は。	NFEについては、工事のボリュームが落ちてきている中でも粗利は出せている。それ以外については国内子会社による案件などの国内案件も含めて順調に利益を稼いでいる。
	カタール復旧案件は、Q1 受注高に含まれているのか。一部報道による「建て替えまで受注できれば数百億円規模」との見立てについては。	Q1 の受注高については顧客との守秘義務により非開示。また、報道については、当社が公表している内容ではないではないため回答する立場にない。
3	受注	
	今期の受注計画 3,000 億円達成に向けた、受注のパイプラインは。	海外においては、引き続き中東復旧案件は狙っていくべき案件。国内においては、CCS・水素等の脱炭素案件が主な案件。国内子会社においては新規顧客開拓を狙う。受注高については経営陣も課題を認識しており、今後着実な受注の積み上げあるのみ。

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えください。よろしくお願いいたします。